

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 6 巻第 14 号

第 14 週 (4月3日～4月9日)

発行年月日:平成18年(2006年) 4月14日

発行:滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

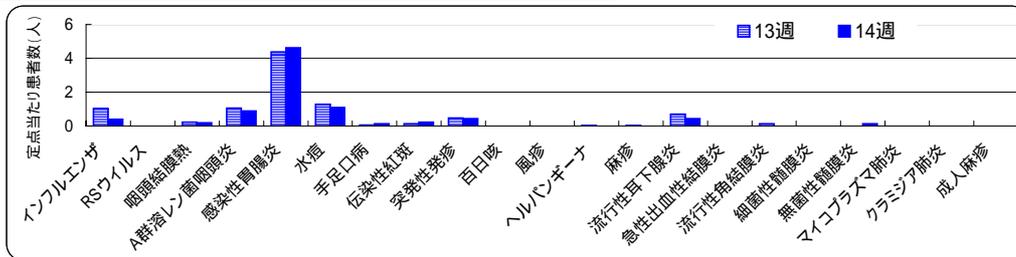
### 今週の感染症発生動向

#### レジオネラ症は今年になって3例目の発生

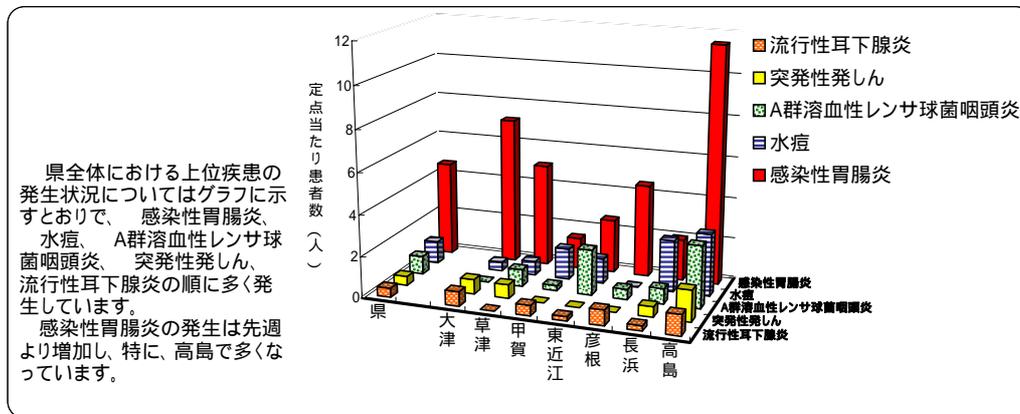
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週(3月27日～4月2日)の報告数より少なくなっています。今週増加した疾患は、感染性胃腸炎、手足口病、伝染性紅斑(リンゴ病)等です。減少した疾患は、インフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎、水痘、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

今週は、全数把握対象である四類感染症のレジオネラ症1名の届出がありました。

#### 定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



#### 上位5疾患の保健所管内別発生状況(定点把握対象五類感染症、第14週、定点当たり患者数)



#### 感染症のミニ知識 ～レジオネラ症～

レジオネラ症はレジオネラ属菌(大部分はレジオネラ・ニューモフィラ)が原因で起こる感染症の総称で、劇症型の肺炎(レジオネラ肺炎)と一過性のポンティアック熱があります。健康な人の発症はまれですが、乳幼児、高齢者、免疫の低下した人などが感染しやすい感染症です。

レジオネラ属菌は、もともと自然界の土壌や淡水に存在している菌ですが、循環式浴槽、冷却塔、加湿器、噴水等の普及にともない感染する機会が多くなっており、感染時期に季節的な偏りはみられません。また、土ぼこりや水しぶき等に含まれるレジオネラ属菌に汚染された飛まつを人が吸い込んで起こるため、人から人への感染はありません。

平成18年第1～14週における滋賀県の患者届出数は3名となっています。平成11～17年における滋賀県の患者届出数は、平成11年1名、平成12年2名、平成13年1名、平成14年1名、平成15年1名、平成16年0名、平成17年3名となっています。

・**感染様式**: 飛沫感染

・**潜伏期間**: レジオネラ肺炎 2～10日、ポンティアック熱 1～2日

・**臨床症状**: レジオネラ肺炎---頭痛、高熱、咳、悪寒、筋肉痛等が見られるが、他の細菌性肺炎との区別は困難。

ポンティアック熱---突然の発熱(高熱)、悪寒、筋肉痛で始まるが、一過性(数日)で治癒する。

・**治療**: 抗菌薬投与(有効な抗菌薬の投与が行われない場合は、7日以内に死亡することが多い。)

・**予防**: 感染源となる設備や器具の衛生管理により菌の増殖を防ぐことが重要です。そのためには、定期的な水質検査が必要です。また、家庭での24時間風呂の使用時には、ろ材の洗浄・交換をし掃除を頻繁に行うことが必要です。

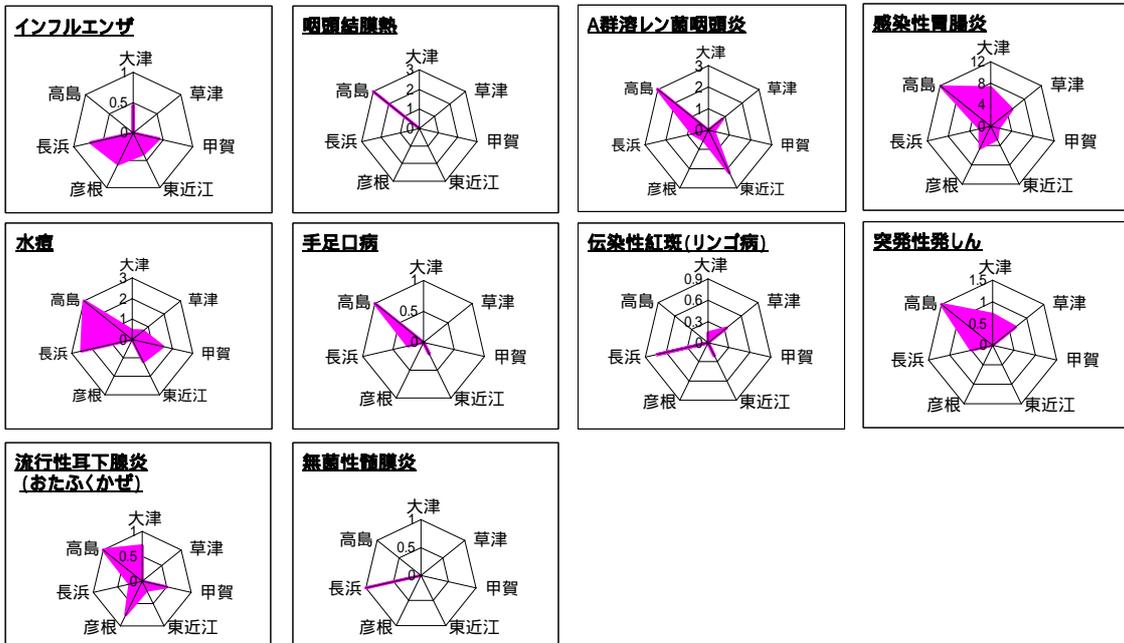


(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第14週、4/3~4/9)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.39	0.45	0	0.43	0.38	0.57	0.71	0	■
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.19	0	0	0	0	0	0	3.00	■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.88	0	0.83	0.25	2.20	0.50	0.75	3.00	■
感染性胃腸炎	4.63	7.14	5.00	1.50	2.60	4.50	2.00	11.50	■
水痘	1.09	0.43	0.67	1.50	1.20	0	2.50	3.00	■
手足口病	0.13	0	0	0	0.20	0	0.25	1.00	■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.22	0.14	0.33	0	0.20	0	0.75	0	■
突発性発しん	0.44	0.71	0.67	0	0	0	0.50	1.50	■
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.44	0.71	0	0.50	0.20	0.75	0.25	1.00	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	■
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

0 1 2 3 4 5  
定点当たり患者数(人)

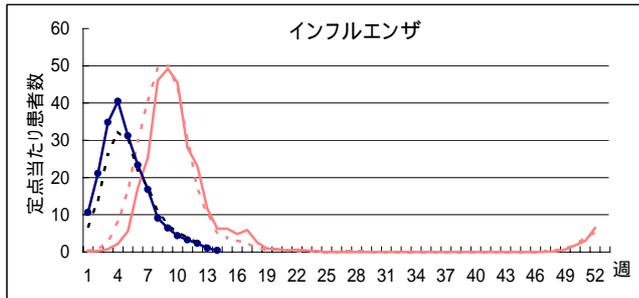
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



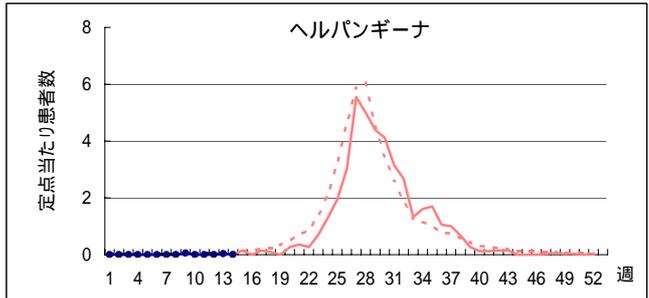
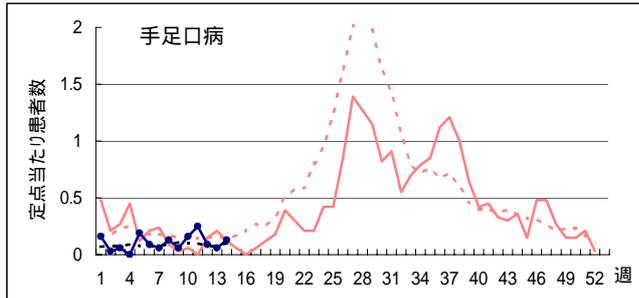
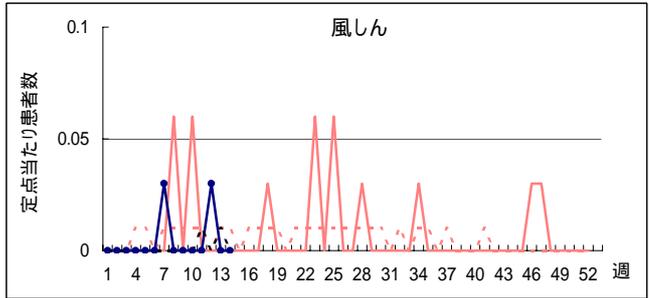
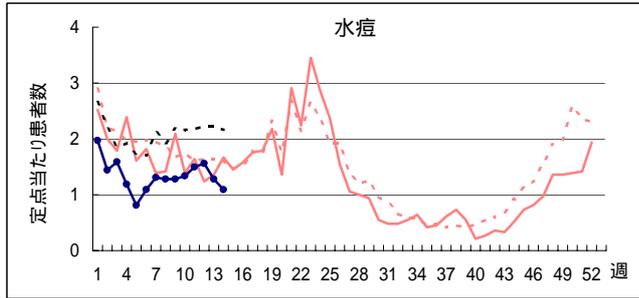
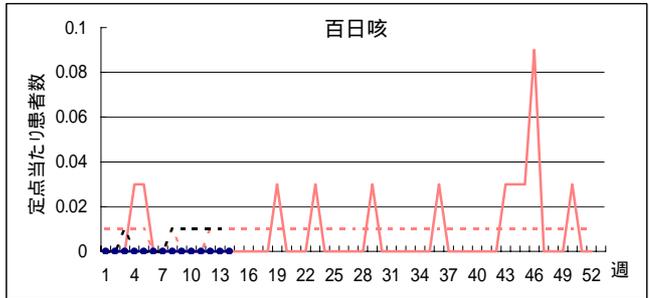
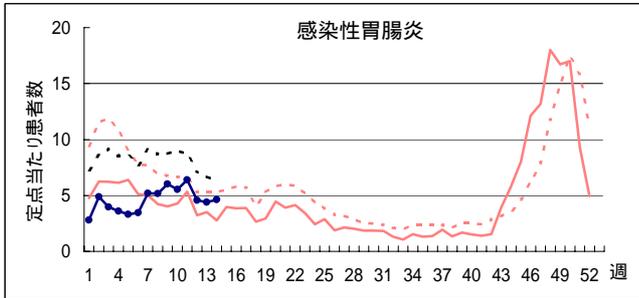
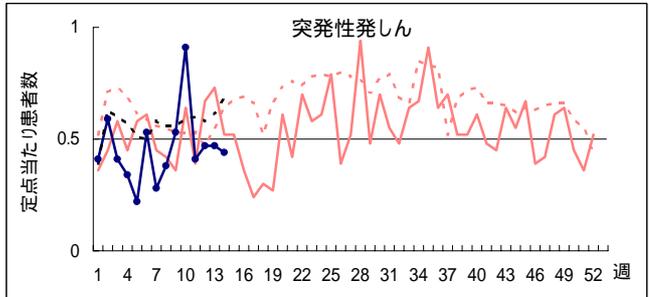
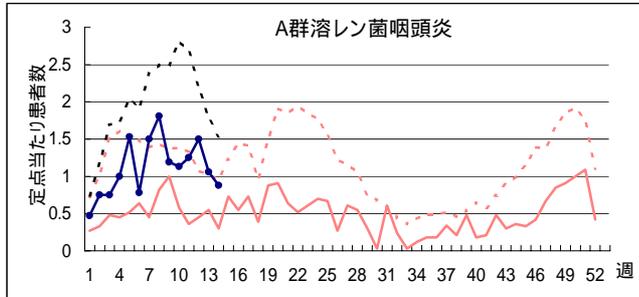
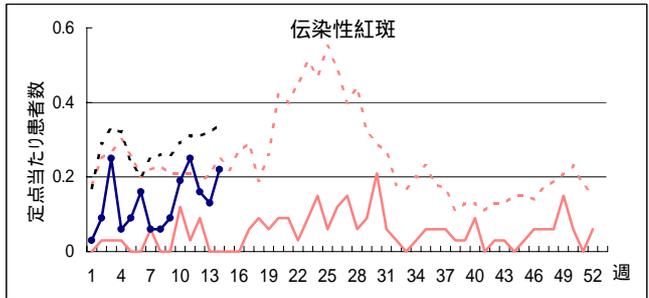
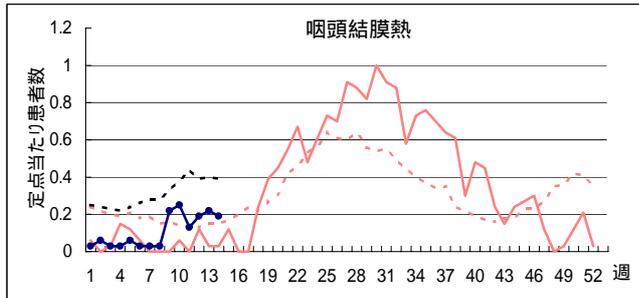
今週の発生状況：保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。

- インフルエンザ-----ほとんどの保健所で先週より減少していますが、甲賀では先週よりやや増えています。
- 咽頭結膜熱-----県全体としては先週よりやや減少していますが、高島では先週より倍増し、定点当たり患者数は3.00となっています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎---- 東近江および高島で先週より多くなっており、特に、高島では定点当たり患者数 3.00と多くなっています。
- 感染性胃腸炎-----大津、彦根、長浜および高島で先週より増加し、高島では定点当たり患者数 11.50と多くなっています。
- 水痘-----甲賀、東近江、長浜および高島で先週より増加しています。
- 手足口病-----東近江、長浜および高島から報告されています。
- 伝染性紅斑-----草津、東近江および長浜で先週よりやや多くなっています。
- 突発性発しん-----大津、長浜および高島で先週よりやや多くなっています。
- 流行性耳下腺炎-----先週、非常に多かった高島ではかなり減少し、定点当たり患者数は1.00となっています。
- 無菌性髄膜炎-----今週は長浜から報告されています。

# 疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第14週、H18.1.2～H18.4.9)



H17 { 滋賀 (solid red line)  
       全国 (dotted red line)  
 H18 { 滋賀 (solid blue line with dots)  
       全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第14週、H18.1.2～H18.4.9)

H17 { 滋賀 ————  
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●  
全国 .....

